



6月22日、確定申告書等のデータ引継ぎを積極的に実施したとして、竜ヶ崎税務署（山本武幸署長）から村に感謝状が贈られました。

竜ヶ崎税務署から村に感謝状

データ引継ぎとは、確定申告をする際に、利用者識別番号を取得して申告をしていただくことで、これまで紙媒体で税務署に引き継いでいた確定申告書等を電子データにより送信し、一連の事務処理の簡素化につながることで、これにより、各種証明書が提出不要となり、還付金が早期還付されるようになった他、印刷物が減少したことによる事務経費の節減等、申告者と行政の双方にメリットが生まれま

した。次回の確定申告も、皆さまのご協力をお願いします。

むらの話題

地域の話題を
お待ちしております

■総務課・広報係
☎029-885-0340 (内) 205

シルリハ体操指導士に感謝状



介護を予防し、高齢者がいきいきとした生活を送ることができるよう考案されたシルバーリハビリ体操。このほど、永年にわたりこの体操の指導と普及に貢献した実績が認められ、本村シルバーリハビリ体操指導会の滝下利男さんが県知事賞を、糠賀常子さんが県立健康プラザ管理者賞を受賞されました。

同会は、茨城県が認定した指導士で構成されており、地域の活性化と高齢者の健康づくりなど、地域に密着したボランティア活動で活躍されています。

スイセンの球根を植えました



6月25日、チャレンジいばらき県民運動推進員の連絡会である、「大好き美浦村ネットワーク協議会（松本政幸会長）」の皆さんが、花いっぱい事業の一環として、村内有志の方々から分けていただいたスイセンの球根を大山地内の村メガソーラー発電所内へ植栽しました。

来年春には可憐な花が心を和ませてくれるでしょう。開花が楽しみです。

民生委員・児童委員に高嶋きみ江氏、佐藤典子氏が就任

令和3年6月1日付けで、高嶋きみ江さんが大山東部地区、佐藤典子さんが美駒地区の民生委員・児童委員に就任しました。

民生委員・児童委員は、それぞれが担当する地区において、住民の生活上のさまざまな相談に応じ、行政をはじめ適切な支援やサービスへの「つなぎ役」としての役割を果たすとともに、高齢者や障がい者世帯の見守りや安否確認等にも重要な役割を果たしています。

高嶋さん、佐藤さん、よろしくお願いいたします。



高嶋きみ江 委員



佐藤典子 委員

藤井康誠さん、馬術団体戦でインターハイへ

美浦中学校出身で、江戸崎総合高等学校馬術部に所属する藤井康誠さんは、6月4日から6日にかけて行われたインターハイ団体の部の予選にあたる、第72回関東馬術リーグ戦に出場しました。藤井さんは最優秀選手に選ばれる活躍でチームを優勝に導き、見事インターハイ出場を手に入れました。「最優秀選手に選ばれたことよりも、チームで優勝できたことが本当にうれしかったです。8月に行われるインターハイでも優勝を目指します。」と力強く語ってくれました。

3年間で築き上げたチームワークで、インターハイでもがんばってください。



第82回 オークス ユーバーレーベン号



手塚貴久 調教師



野島一也 厩務員

5月23日、東京競馬場で第82回オークス(芝・2400m)が行われ、美浦トレーニング・センター手塚貴久厩舎所属のユーパーレーベン号が嬉しいG I 初制覇をしました。

レース序盤は中団やや後方で様子をうかがう。少しずつポジションを上げながら、第3コーナーから第4コーナーと回っていき、馬群の外から前との差を詰めていった。そして、ラスト200m付近で先頭に躍り出ると、その脚色は最後まで衰えることはなく2着に1馬身の差をつけて勝利しました。

担当の野島一也厩務員は、「普段からやる気がなく、レース前ですらやる気を感じられず、とても走る馬には見えないんです。ただ、オークスの時は気持ちが入り、いつもと違っていました。ターフビジョンでレースを見ていましたが、先頭でゴールを駆け抜けるのを見たときは、今まで生きてきた中で一番うれしかったです。これからもケガをせず、競走馬として全うしてくれればと思います。」と語ってくれました。現在は秋に向けて休養中とのことですが、今後のさらなる活躍が楽しみです。

第71回 安田記念 ダノンキングリー号

6月6日、東京競馬場で第71回安田記念(芝・1600m)が行われ、美浦トレーニング・センター萩原清厩舎所属のダノンキングリー号が優勝しました。

レース中盤までは馬群で脚をため、最後の直線で外に持ち出されるとしぶとい末脚がさえわたりました。ゴール前では内から強力なライバルが猛追してきたが、アタマ差をしのぎきり、先頭でゴールしました。通算7回目のG I 挑戦で、悲願の初タイトルをつかみ取りました。

担当の松山直樹厩務員は、「若い時はやんちゃな面もありましたが、最近は周りに影響をうけることもなく、落ち着いてレースに臨んでいます。結果はラジオで知りました。接戦だったこともあり、正直その時は勝ったかがわかりませんでした。周りからおめでとうと言われて本当に勝ったんだなと実感しました。勝てたことは当然嬉しかったが、それ以上にやっとこの馬が強いことを証明できたことに安心しました。」と語ってくれました。諦めずに挑戦し続けるその姿に多くの人が感動し、勇気づけられたレースでした。



萩原 清 調教師



松山直樹 厩務員

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、厩舎には訪問せず電話による取材とさせていただきます。